



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅほらん」
発行責任者
無所属県会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

令和6年度予算特別号
2024.5

いつもありがとうございます。桜の開花が例年より遅く、久しぶりに入学式に桜が満開でした。新一年生や新社会人の皆さんの初々しい姿を目にし、初心を忘れず頑張ろうという気持ちにさせていただいた4月でした。

さて、今号は予算特別委員として審査した埼玉県令和6年度予算概要について一部抜粋しご報告いたします。

令和6年度予算特別委員会

埼玉県議会令和6年2月定例会は、2月20日(火)から3月27日(水)まで行われました。予算特別委員会では、各会派の所属人数により質疑時間が割り振られており、部局別審査では連日質疑に立ち、総括質疑では知事に対し、埼玉県の多文化共生社会の現状と課題、治安向上について問いました。質疑内容をご報告いたします。(一部抜粋)



3月11日 選挙管理委員会・総務部・県民生活部

- ・投票率向上のために選挙カレッジ事業の強化について
- ・アライチャレンジ企業登録制度について
- ・女子サッカーの普及について
- ・個々の職員へのきめ細やかな面談・指導体制の構築について

3月12日 福祉部

- ・さいたま子育て応援フェスタの運営について
- ・障がい者の芸術活動の更なる支援としてワークショップの実施について

3月13日 産業労働部

- ・県内で学んだ生徒が県内企業に就職するよう若者の就業支援について
- ・シニアの活躍の場が拡大するよう企業への助成金拡充について

3月14日 教育委員会

- ・特別支援学校でのパラスポーツの取り組みの強化について
- ・県立学校での主権者教育の更なる取り組みについて

3月15日 危機管理防災部

- ・現場に行く際に携帯する翻訳機の機能強化と多言語に対応した機器の導入について



歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石

①歴史的課題への挑戦

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

一般会計 **2兆 1,197億 4,400万円** 前年度比 ▲4.1%

(全会計合計 **3兆 5,545億 2,912万 4千円**) 前年度比 ▲2.8%

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

あんしんしあわせ たのしい こども支援の充実 ①

新規 「こどもまんなか社会」実現への取組

1,352万7千円

・子供等から県の子供施策に対する意見を聴取する仕組みを構築

- こども県政サポーター（仮称）制度を創設
- 意見聴取のシステムを構築



拡充 子育て家庭への経済的支援

37億6,910万4千円

◆ こども医療費助成制度の拡充

- ・補助対象年齢の拡大、所得制限の撤廃
- 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を後押し

区分	補助対象 (拡充後)
通院・入院	就学前 小3・中3まで
所得制限	あり なし

一部新規 拡充 保育人材の確保

1億 903万4千円

◆ 潜在保育士の就職支援

- ・潜在保育士に向けたデジタル広告や一斉通知の実施
- ・ワンストップで情報収集可能なポータルサイトの構築
- ・段階的に復職するための雇上げに係る経費の補助



新規 家族形成に向けた気運の醸成

1,438万円

- ・プロスポーツチーム等と連携した婚活イベントの開催
- ・SNS等を活用した結婚などに関する様々な情報発信



新規 困難を抱える妊産婦への支援

3,317万3千円

- ・安心して生活できる場のない妊婦を産科医療機関等で緊急一時的に受入
- ・母子生活支援施設で一時的な居所や出産後の生活相談等、安心して出産・生活できる場を提供
- 関係機関で連携して切れ目なく支援を実施
- 妊産婦の孤立化・0歳児虐待を防止



新規 育児と仕事が両立できる社会の実現

1,857万5千円

◆ 男性の家事・育児参加の促進

- ・男性の育休取得に積極的に取り組む企業の表彰・イベントの開催等
- ・企業の経営者・管理職向けセミナーの実施
- ・家事・育児のヒント集「子育てハンドブック（仮称）」の作成



①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応）

あんしんしあわせ たのしい こども支援の充実 ②

新規 こどもの居場所の確保・充実

新規 児童虐待防止・社会的養育の充実

2億9,013万2千円

◆ バーチャルユースセンター（仮称）の設置

- ・メタバース空間にこども・若者の居場所を設置
- 交流・体験、相談の場として構築・活用
- リアルの交流・体験、専門支援との連携



◆ 放課後児童クラブの待機児童対策の推進

- ・既存施設等を活用した児童の受け皿確保を行う市町村への補助
- ・児童・保護者向け調査を実施し、待機児童対策に係る施策の検討に活用



◆ こどもの居場所を支える体制づくり

- ・地域ネットワークの立ち上げ促進
- ・地域のこどもの居場所支援団体の育成
- 市町村がこどもの居場所支援団体と協働して地域課題の解決を目指すモデル事業への補助



～虐待に対する切れ目のない支援～

発生予防	早期発見・対応	児童・家庭支援	里親等・施設入所	施設退所・自立
・普及啓発活動 ・妊産婦等支援	・窓口整備・普及 ・児相体制強化 ・関係機関連携	・児童の心のケア ・家族再統合支援 ・児童の意見表明等支援	・里親等支援 ・施設運営体制強化	・住宅・就労支援 ・資金貸付 ・アフターケア

◆ 児童虐待の未然防止

- ・課題を抱える子供や家庭への包括的支援を行う市町村への補助

◆ 一時保護所の環境整備

- ・中央児童相談所一時保護所の建替えに向けた設計等を実施
- 令和9年度開所予定
- ・保護児童の意見の表明等を支援



◆ 児童養護施設等の運営体制の強化

- ・乳児院における医療機関との連携強化
- ・補助者の雇上げ経費への補助
- ・児童養護施設等職員に対する家賃補助
- ・新たに設置する里親支援センターによる包括的な支援を実施



① 歴史的課題への挑戦

激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

一部新規 災害対応力の底上げ 3,411万円

◆ 埼玉版FEMAの推進

- ・既存シナリオのブラッシュアップと、新たに「林野火災」のシナリオを作成し、図上訓練を実施
- ・指揮命令権者訓練の実施
 - 県全体の危機管理、災害対応力の強化



◆ ドローンを活用した災害現場上空観測の実証実験

- ・災害発生時に、ドローンによる災害現場の上空観測を実施
 - 迅速・的確な災害対応への有効性を検証



◆ ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化

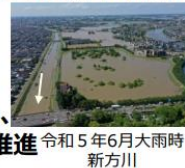
- ・県標準手引き及び映像資料の作成
- ・手引きに基づく市町村版マニュアルを全市町村で策定



一部新規 自然災害への備え 123億9,598万7千円

◆ 埼玉版流域治水対策の推進

- ・中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト
 - 中川・綾瀬川流域を「特定都市河川」に指定し、法的枠組みを活用して流域治水をより強力に推進



◆ 道路冠水対策の強化

- ・道路冠水常襲箇所冠水感知センサー及び警報装置を設置



新規 新たな感染症への備え 7億5,972万3千円

- ・新たな感染症の発生・まん延時に備え、協定締結医療機関が行う施設・設備整備への補助など感染症対応力の向上を支援
- ・検査能力向上など県衛生研究所の機能を増強
- ・新たな感染症を想定した訓練を実施し、地域の連携体制を構築



新たな感染症への対応力を強化

新たな感染症を想定した訓練の様子

② 「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

県民の暮らしの安心確保/介護・医療体制の充実

新規 犯罪捜査力の強化 4,702万2千円

◆ 情報通信機器の証拠収集と解析力を強化するための環境整備

- ・従来、証拠収集やデータ解析に要していた作業を効率化
 - 聞き込みや防犯カメラの精査等の代替捜査に費やしていた時間と労力を削減



拡充 働き方の柔軟化による警察力の向上 2億1,771万4千円

◆ テレワークによる働き方改革の推進

- ・職員が能力を最大限発揮できる柔軟な勤務環境の拡充
 - 育児等の事情を抱える職員がフルタイムで働くことができるなど仕事と家庭の両立を推進



新規 生活の安心支援 350万円

◆ ビジネススクアラーの仕事と介護の両立支援

- ・地域包括支援センターへの早期相談などを促す動画の作成・周知



一部新規 人材の確保・定着対策の推進 8億3,121万5千円

◆ 医学生への奨学金貸与枠の拡充

- ・県内の医師不足地域等に勤務することを条件とする奨学金の新規貸与枠（地域枠）を拡大 7大学45名 ➢ 8大学47名

◆ ICT導入による看護業務効率化の支援

- ・県内病院にアドバイザーを派遣
- ・モデル施設の好事例を横展開



一部新規 地域医療体制の充実 3億3,123万3千円

◆ 救急電話相談・救急搬送体制の強化

- ・救急電話相談#7119の体制強化
- ・救急医療情報システムに画像等の送信機能を追加



◆ がん患者のQOL向上

- ・ウィッグ等のアピアランスケア用品購入費用を助成する市町村を支援
- ・AYA世代終末期患者の在宅療養費用を助成する市町村を支援



② 「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

未来を創る子供たちの育成/人生100年を見据えたシニア活躍の推進

新規 多様なニーズに対応した教育の推進 2,465万9千円

◆ ICTを活用した遠隔教育の展開に向けた実証

- ・教員確保が困難な教科等の遠隔授業の実証
- ・大学による高校生向け遠隔授業の実証



◆ 農業高校生の収益力のある農業の学びの推進

- ・ICTやデータ等を活用したスマート農業などを学ぶ環境の整備、カリキュラムの開発・実践



新規 シニアの活躍支援 4,586万5千円

◆ 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアを対象とした総合支援

- ・運動機能の測定や講座放映等の社会参加・健康づくり事業の実施
- ・体験型機器を活用した交通安全教育の実施
- ・口腔機能ケアの重要性について普及啓発



(自転車シミュレーター)

(運動機能測定機器)

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

支え合い魅力あふれる地域社会の構築

一部新規 地域の魅力創造発信と観光振興

6億 785万2千円

◆ 魅力あるコンテンツを核としたインバウンド誘致

- 魅力あるコンテンツを選定し、集中的にプロモーションを実施
- 旅マエ・旅ナカ・旅アトの各段階に応じた情報発信



◆ ビッグデータ等を活用した観光関連事業者等の支援

- 埼玉県版観光DMP(Data Management Platform)の構築
- 新たな観光誘客の取組へのチャレンジに対する支援

◆ 本県の魅力を活用した観光誘客

- テーマ別特設サイトの制作、ターゲティング広告の実施
- 渋沢栄一翁やアニメなどを活用した観光振興
- 都内、県内における埼玉県産いちごフェアの開催



◆ 誰もが安心・安全に利用できる公園の整備

- 障害の有無等に関わらず遊べる遊具のあるインクルーシブな広場の整備
- 誰もが安心して利用できるトイレの設置



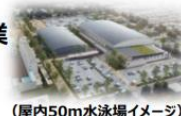
遊具広場イメージ（写真は、都立金人公園）

一部新規 スポーツの振興

4億7,468万8千円

◆ 屋内50m水泳場の整備(川口市)

- 整備・運営・維持管理業務を一体で行うPFI事業
- 設計の実施 (令和9年度開設予定)



(屋内50m水泳場イメージ)

◆ スポーツ科学拠点施設の整備(上尾市)

- Park-PFI事業者の公募・選定
- 限度額 149億円8,797万円<債務負担行為>
- 期間 令和7~38年度 (令和9年度開設予定)

ベルスイムズ/123RF.COM

◆ eスポーツの普及・裾野拡大

- 3か所の会場を接続するイベント等の開催
- 賑わい創出、共生社会の実現、社会課題の解決等



(イベントイメージ)

新規 未来の県庁・新しい働き方の実現

1億 929万8千円

- 「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点の基本構想の策定
- 職員のワークエンゲージメントを向上させるABW型オフィスを整備



②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化

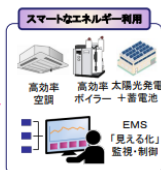
豊かな自然と共生する社会の実現

一部新規 拡充 カーボンニュートラルの推進

7億7,142万2千円

◆ CO₂削減に取り組む中小企業等への支援

- 中小企業等のスマートなエネルギー利用を促す補助
- 〈補助対象〉
 - ① 高効率設備への更新、再エネ・蓄電池の導入
 - ② ①とエネルギー管理システム(EMS)の同時導入
- 〈補助率〉 ① 1/3 ② 1/2
- 〈補助上限〉 ① 500万円 ② 1,000万円



- 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や連携等の推進

◆ 電動車(EV/PHV)の導入支援

- 県民及び事業者のEV/PHV等の導入に対する補助
- 〈補助対象〉 ① EV、② 軽EV/PHV、③ V2H、④ 外部給電器
- 〈補助上限〉
 - ① 40万円*1又は25万円、② 27.5万円*1又は15万円
 - ③ 15万円*2、④ 25万円
- *1 太陽光発電設備及びV2Hを導入又は保有の場合
- *2 EV/PHV及び太陽光発電設備を導入又は保有の場合
- ・公用車へのEV/PHV導入環境整備



一部新規 下水道資源の有効活用 1億6,687万1千円

◆ 下水汚泥の肥料化の推進

- 下水汚泥の堆肥化の検討
- 県北部の3流域の下水汚泥の堆肥化について事業検討
- 堆肥を試作し安全性や効果をPRし販路を開拓
- 下水汚泥焼却灰の肥料利用の検討
- 高濃度のりん酸を含む下水汚泥焼却灰について肥料利用を検討

(堆肥の本格製造のイメージ)



一部新規 全国植樹祭の開催準備 6億6,257万2千円

◆ 式典及び関連行事等の開催準備

- 第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会の開催、運営
- 式典会場及び植樹会場等の整備
- イベントの開催及び広報の実施等による機運醸成



全国植樹祭

◆ 秩父ミュージックパークの整備

- 音楽堂、長尾根スカイラインの改修等

令和6年度の所属委員会が決定しました
警察危機管理防災委員会
少子・高齢福祉社会対策特別委員会



埼玉県議会6月定例会
6月17日～7月5日 (予定)



埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- 昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- 川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部卒業、明治大学専門職大学院がバナンス研究科 修了。
- 父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- 2015年5月～2019年3月 川口市議会議員
- 2019年4月～2023年4月 埼玉県議会議員(1期目)
- 2023年4月～埼玉県議会議員
- 所属委員会 総務県民生活常任委員会 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会
- 趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ミニテニス(身体を動かすことが好きです。川口マラソンも走ります。)
- 好きな食べ物 ラーメン、ドーナツ、チョコミント味のもの
- 好きな言葉 志あるところに道は開ける
- Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。



★★★★ やめよう無関心。まちの未来はあなたから ★★★★★

<討議資料>